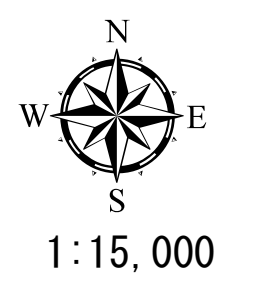
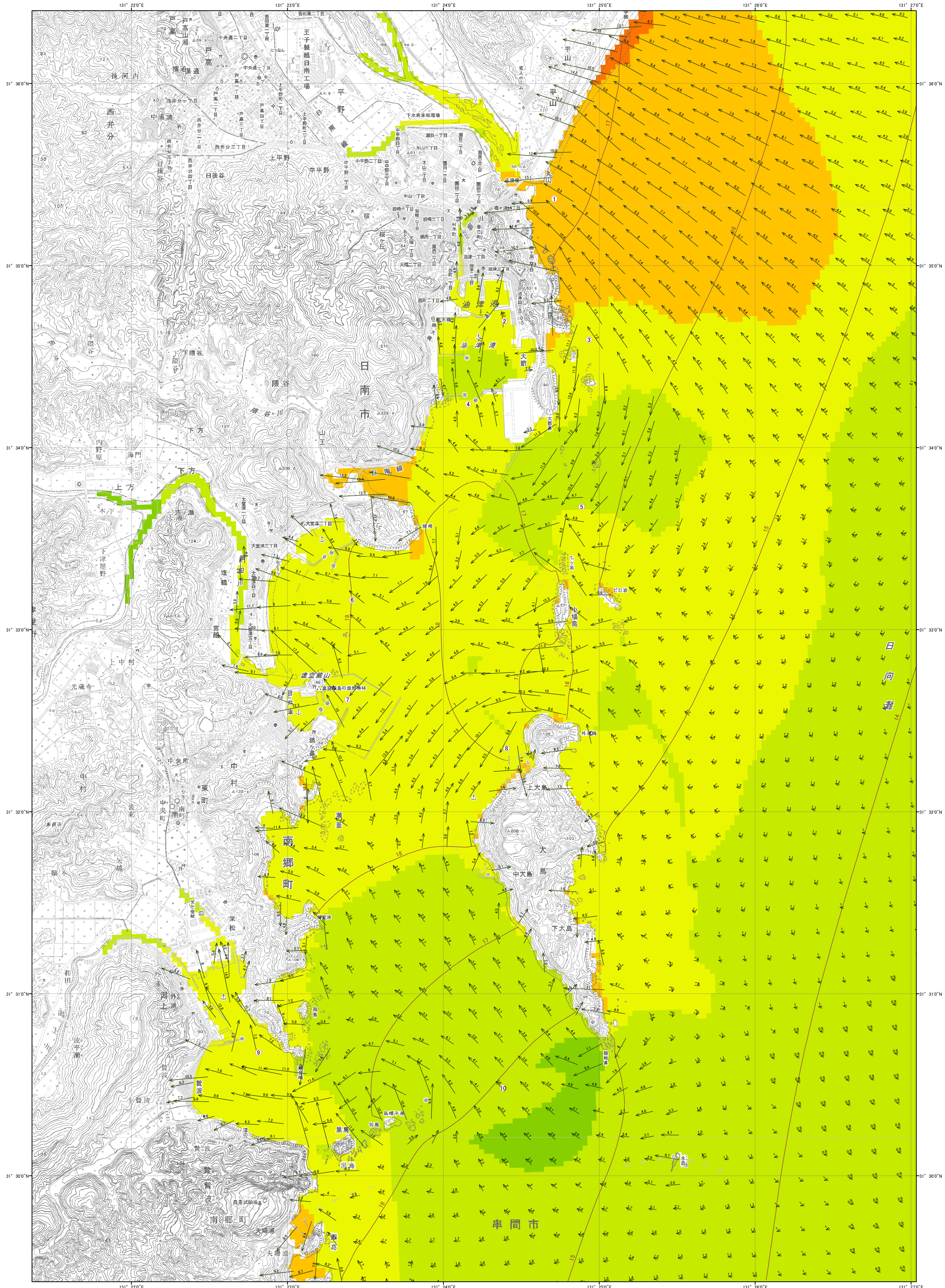


# 油津港 津波防災情報図(進入図)

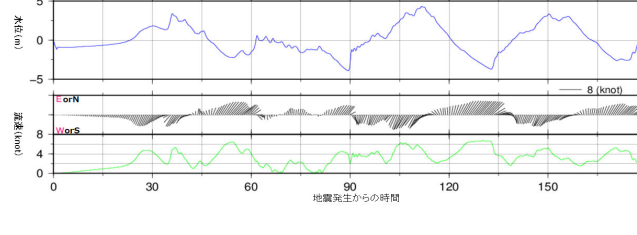
計算条件：最高水面（零位）  
 隆起量：平均 -41cm(-51cm ~ -33cm)  
 Zo：1.16m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

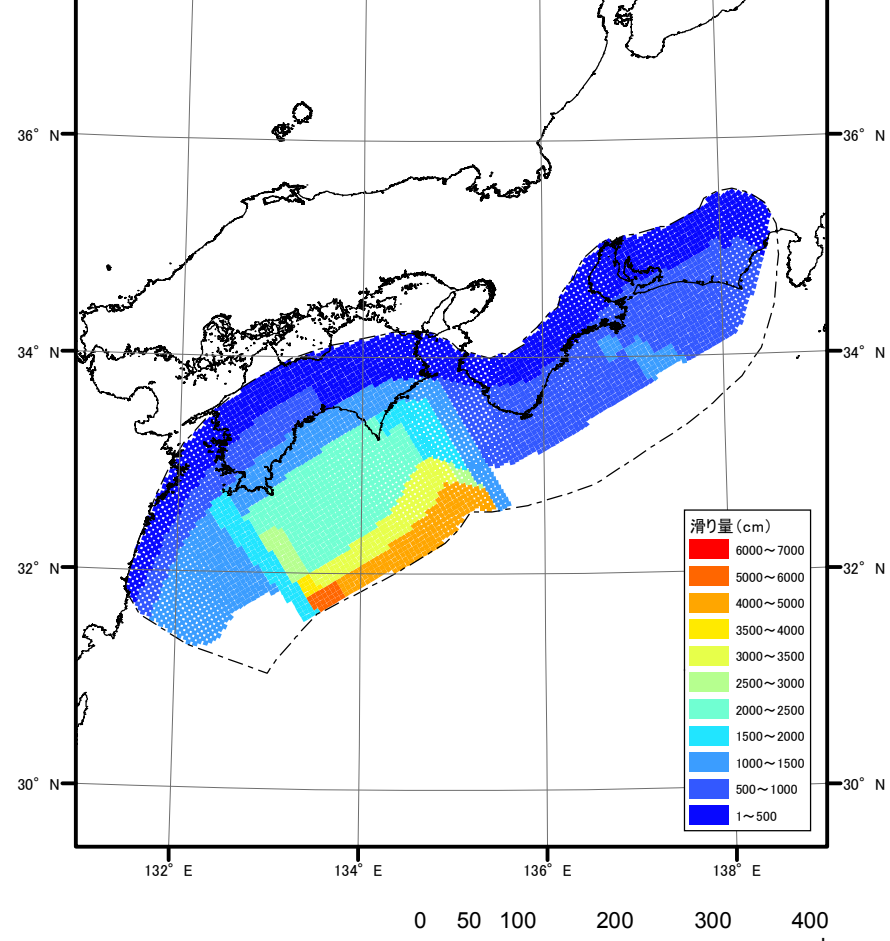
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
  - 10~最大11.2m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- 経時変化図出力点  
 (上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で表示。)
- 水位、流向・流速経時変化図



- 進入時最大流 [knot]
  - 6 knot
  - 4 knot
  - 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点をもとに計算している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

## 断面モデル



| ケース④「四国沖に『大すべり域+超すべり域』」   |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 断面面積 S (km <sup>2</sup> ) | 140,000                |
| 地震モーメント Mo (N·m)          | 6.4 × 10 <sup>17</sup> |
| 平均すべり量 D (m)              | 10.8                   |
| モーメントマグニチュード Mw           | 9.1                    |

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)・及び数値地図25000 (地図画像)  
 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情保 第911号 平成25年3月29日)  
 ・海岸における30電子地図 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 国地応地第98号 平成24年3月21日)

